

環状七号線地下広域調節池事業説明会

〔議事要旨〕

1. 開催概要

日時：平成28年 5月10日（火） 午後7時00分～午後8時00分
場所：野方区民活動センター 3階洋室A・B

2. 説明内容

- 1) 中小河川における都の整備方針について
- 2) 環状七号線地下広域調節池の計画について
- 3) 環状七号線地下広域調節池の整備について

3. 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

質問1 取水口が常に開いているように見えるが、大雨の際、水が溢れる前に調節池がいっぱいになってしまうのではないかと。

回答1 取水口の奥にゲートがあり、一定水位以上になってからゲートを開けるため、河川の水が溢れる前に調節池がいっぱいになるということはありません。

質問2 工事中は調節池に水が入らないようにするのですか。

回答2 工事中においても河川から洪水を取り入れるようにします。

質問3 掘った土はどのように運び出すのですか。

回答3 工事では泥水式シールド工法を採用します。掘った土は、泥水の状態で地上へ輸送され、地上において脱水を行い、土砂分をダンプにて場外へ搬出します。

質問4 シールド工事は昼夜間行いますか。

回答4 今回の工事はシールドの掘進や土砂処理プラントの稼働を昼間のみとし、夜間は作業音が出ないように工事を進めたいと考えています。

質問5 搬入路となる箇所に横断歩道があり、前回工事の時にダンプの往来が危険だと感じた。また、仮設の防音壁で見通しが悪くなり、防犯上も好ましくないため、安全対策を十分に図ってほしい。

回答5 安全対策につきましては、受注者が決まってから、ご意見を伺いながら詳細を詰めていきます。

質問6 準備工事で移設する電気設備はどこへ移す予定ですか。

回答6 妙正寺川取水施設の向かい側にあるインフォメーションセンターへ移設する予定です。

質問7 今回の工事が完了して白子川地下調節池と環七地下調節池がつながった場合、白子川や石神井川の水がこちら側に流れてきて溢れるということはないですか。

回答7 調節池内の水がいっぱいになると、ゲートを閉鎖してそれ以上水が入らないようにするため、白子川や石神井川から流入した水により妙正寺川等で水が溢れるということはありません。

質問8 工事説明会はいつ頃やる予定ですか。

回答8 今回事業のメインとなるトンネル工事の工事説明会はおよそ一年後を予定しています。また、電気設備の移設や管理棟の解体工事等の準備工事については、年末から年明けぐらいから始める予定であり、工事前には何らかの形で周知をさせていただきます。